

2026
1月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News



■ **OCVBホームページ**
<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】
■ **沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語**
<https://www.okinawastory.jp/>



ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

会長 浜田 京介



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の沖縄観光は、国内外からの需要が一段と高まり、観光再生から「持続的な成長」へと歩みを進めた一年となりました。沖縄本島北部における大型テーマパークの開業や、首里城再建に向けた着実な進展などにより、国内外から沖縄への注目が集まりました。国際情勢の変化による不透明さはありましたが、関係各位とともに市場の多様化とリスク分散に取り組んだ結果、全体として堅調な回復基調を維持することができました。

また、伝統芸能・スポーツ・食・自然など各分野の専門家である「沖縄観光大使」による発信に加え、世界的ミュージシャンであるAwichさんには、NY公演等を通じて、世界に通用するブランドとしての「OKINAWA」を力強く発信いただきました。沖縄観光の「顔」がより多彩になったことは、今後の展開において大きな財産であると考えております。

入域観光客数は3月までに1,000万人を突破し、今年度に過去最高を記録する見込みです。これは、皆様の日頃からのご尽力が結実し、沖縄観光が完全復活から次なる飛躍のフェーズに入った証といえます。そして2026年は、沖縄観光にとって重要な節目の年となります。秋には、県民の悲願であった首里城正殿が復元完成を迎えます。琉球の歴史とアイデンティティの象徴が蘇るこの機会を最大限に活かし、沖縄ブランドのさらなる向上につなげてまいります。また、「泡盛の酒づくり」のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、琉球文化への国際的評価は一層高まっています。こうした文化資源を観光と結び付け、新たな価値として発信していくことが求められます。

OCVBでは、2026年の沖縄観光をさらに発展させるため、①観光需要の平準化、②海外市場の拡大と受入体制の高度化、③持続可能な観光地およびMICE開催地づくり、④観光活性化に必要な自立的財源の確保、の4点を重点的に推進してまいります。

今年の干支である午年にふさわしく、スピード感と行動力をもって、沖縄観光のさらなる飛躍に挑んでまいります。多様な文化と自然、そして「うとういむち」の心を礎に、関係各位と力を合わせ、世界から選ばれ続ける沖縄観光の実現に全力で取り組んでまいります。

本年も、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年1月

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況(25年4月～11月実績、12月～2月見通し)

	12月	1月	2月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉	
	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

		9月(実績)	上期 計	10月(実績)	11月(実績)	12月(予測)	1月(予測)	2月(予測)	年度 計	12月-2月
2025年度比	空路	国内	681,500	3,965,800	721,300	661,000	640,000	590,000	618,000	7,196,100
	空路	海外	173,200	1,057,600	181,700	157,300	164,000	166,000	156,000	1,882,600
	空路	合計	854,700	5,023,400	903,000	818,300	804,000	756,000	774,000	9,078,700
	海路	国内	4,200	29,200	3,600	1,800	2,300	2,000	5,100	44,000
	海路	海外	89,700	482,600	79,200	74,400	66,000	83,000	68,000	853,200
	海路	合計	93,900	511,800	82,800	76,200	68,300	85,000	73,100	897,200
	空路海路合計		948,600	5,535,200	985,800	894,500	872,300	841,000	847,100	9,975,900
	国内合計		685,700	3,995,000	724,900	662,800	642,300	592,000	623,100	7,240,100
	海外合計		262,900	1,540,200	260,900	231,700	230,000	249,000	224,000	2,735,800
12月-2月										
1,848,000										
486,000										
2,334,000										
9,400										
217,000										
226,400										
2,560,400										
1,857,400										
703,000										
103.8%										
118.7%										
106.6%										
170.9%										
116.6%										
118.2%										
107.5%										
104%										
118%										

■概況

国内入域：

- 堅調な個人旅行需要に加え、旅行代理店による企画ツアーなどの団体旅行の需要も好調に推移している。また、年末年始は最大9連休と日並びがよく、とくに連休前半は好調に推移している。
- 那覇マラソンなどのスポーツイベントの開催に加え、1月はJリーグサッカーキャンプ、2月からはプロ野球キャンプが開催されるなど、旺盛な需要が見込まれる。
- 「MITSUI OCEAN FUJI」や大型クルーズ船「MSCベリッシマ」では、那覇発着のフライ&クルーズ商品が計画されており、県外から多くの利用者が訪れることが予想される。

海外入域：

- 空路は台湾、韓国仁川の需要が好調に推移している。12月には那覇＝シンガポール線の新規就航、台南＝那覇線のチャーター便が就航し、新たな需要拡大が期待されている。2月3日～台北＝那覇線の新規就航があり、2月末時点では台湾と沖縄を結ぶ便は週106便(19年度対比119%)まで充実する。
- 石垣/下地島発着の直行便は、台北や韓国仁川を中心に需要が堅調に推移している。2月12日～台北＝下地島線の運航再開、2月13日～台中＝下地島線の新規就航も予定されており、離島地域においても海外入域者数の増加が見込まれる。
- 海路は、台湾・香港発の海外クルーズを中心に堅調に推移している。
- 中国の渡航自粛要請に伴い、団体旅行やクルーズ船寄港のキャンセルなど影響が発生している。

過年度実績については、沖縄県の入域観光客概況をご確認ください。

1. 入域観光客数概況（25年4月～11月実績、12月～2月見通し）

12月

空路

(国内) 64万人 (24年12月対比 104.8%) と見込む。(海外) 16.4万人 (24年12月対比 125.3%) となる見通し。

シンガポール=那覇路線

(新)スクート航空: 12月15日～ 新規就航 (週3便 月水日)

台南=那覇路線

(新)タイガーエア: 12月25日～3月28日 定期チャーター便就航 (週2便 木日)

海路

(国内) 2,300人 (24年12月対比 127.8%) の見通し。(海外) 6.6万人 (24年12月対比 90.2%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数: 15本 (24年12月: 23本)

国内クルーズ: 9本 (那覇発) すべて那覇発着のフライ&クルーズ

海外クルーズ: 6本 (台湾/高雄・香港・中国/広州) 石垣港・平良港のみ寄港1本。

1月

空路

(国内) 59万人 (25年1月対比 104.4%) と見込む。(海外) 16.6万人 (25年1月対比 111.9%) となる見通し。

海路

(国内) 2,000人 (25年1月対比 117.6%) となる見通し。(海外) 8.3万人 (25年1月対比 121.7%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数: 24本 (25年1月: 23本)

国内クルーズ: 10本 (那覇・横浜発) 那覇発着のフライ&クルーズ8本含む

海外クルーズ: 14本 (台湾/基隆・高雄・香港・釜山・中国/天津・広州)

石垣港・平良港のみ寄港は2本。

2月

空路

(国内) 61.8万人 (25年2月対比 102.3%) と見込む。(海外) 15.6万人 (25年2月対比 119.7%) となる見通し。

台北=那覇路線

(新)日本トランスオーシャン航空: 2月3日～ 新規就航 (デイリー)

台北=下地島路線

スター・ラックス航空: 2月12日～3月26日 運航再開 (週2便 月木)

台中=下地島路線

(新)スター・ラックス航空: 2月13日～3月27日 新規就航 (週2便 火金)

海路

(国内) 5,100人 (25年2月対比 255%) となる見通し。(海外) 6.8万人 (25年2月対比 152.1%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数: 25本 (25年2月: 15本)

国内クルーズ: 1本 (東京発)

海外クルーズ: 24本 (台湾/基隆・香港・中国/上海、広州) 石垣港・平良港のみ寄港は13本。

(空路) 国内: 県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
海外: 海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内: 乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外: 乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

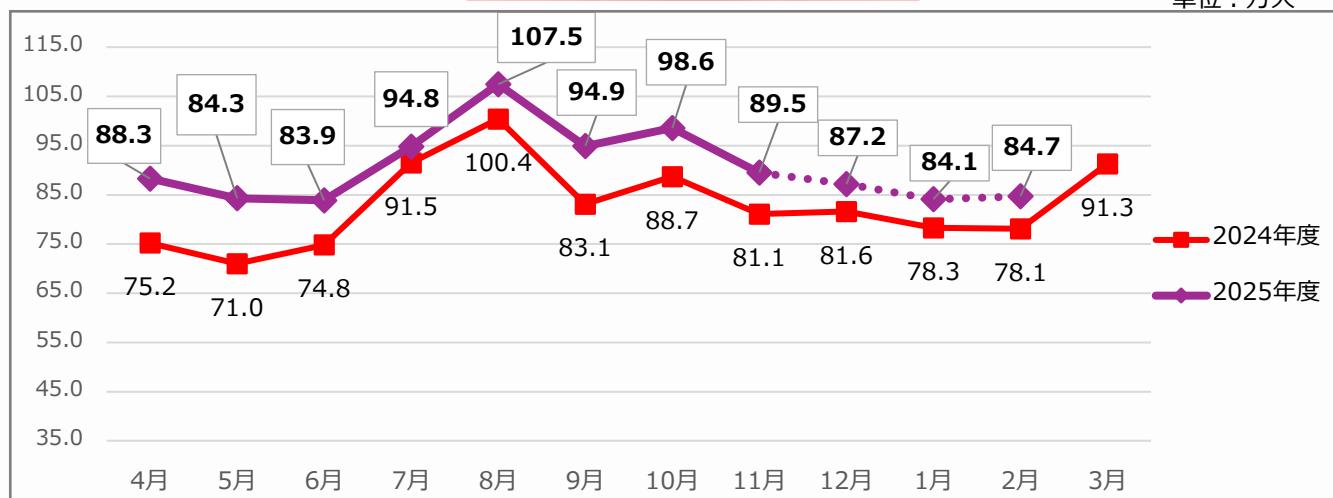
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況について

2. 入域観光客数概況グラフ

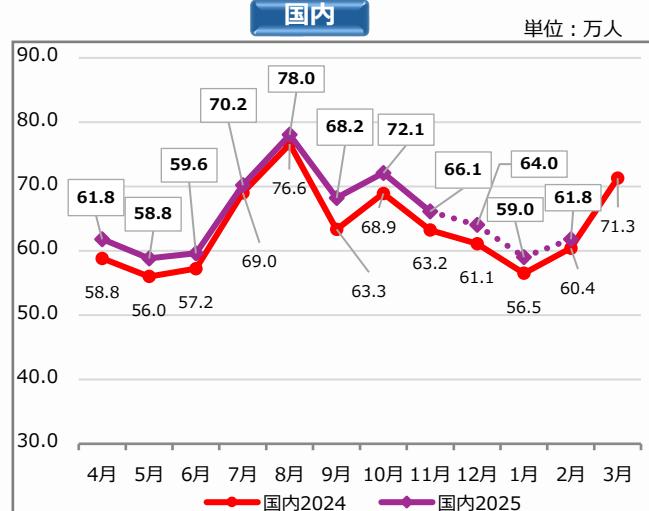
入域観光客 (合計)

単位: 万人



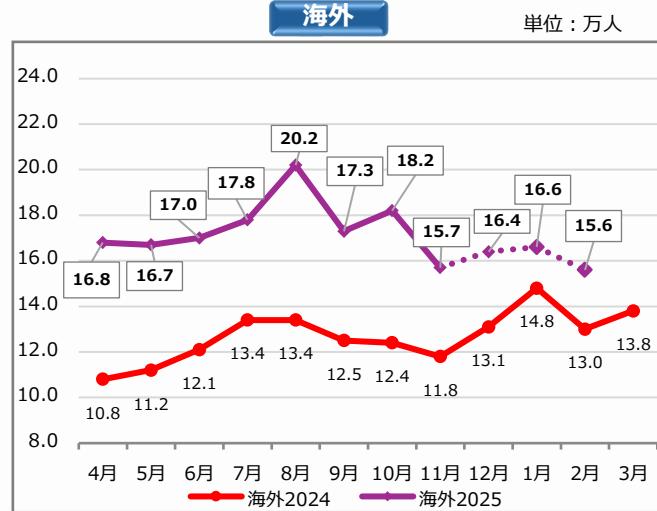
入域観光客 (空路)

単位: 万人



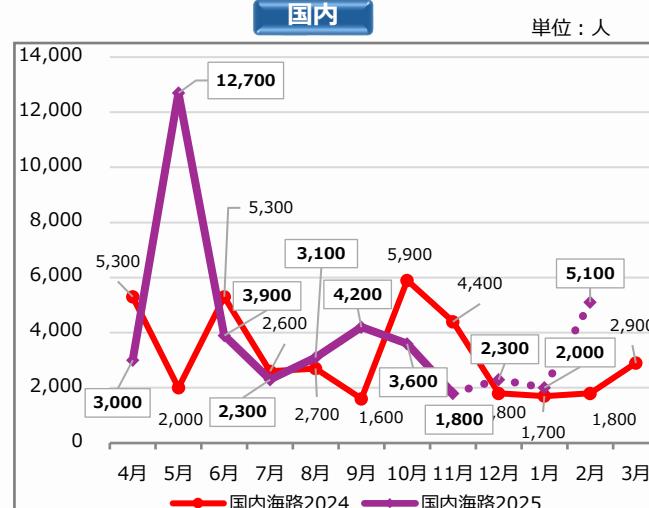
海外

単位: 万人



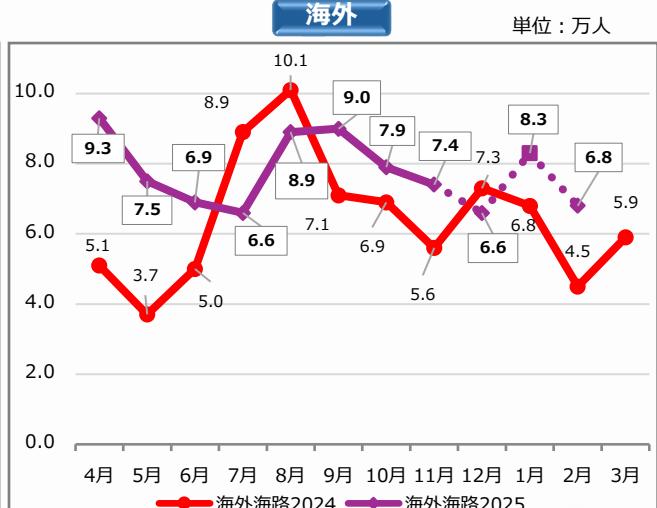
入域観光客 (海路)

単位: 人



海外

単位: 万人



2025年度 入域数 実績概況

数値引用／沖縄県観光政策課

1. 沖縄入域観光客数

合計	総計				空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	
	4-6月計	2,564,100	116.0%	+353,400	4-6月計	2,306,800	112.0%	+247,000	2,059,800	257,300
7月	947,600	103.5%	+32,200	915,400	7月	879,500	106.8%	+55,700	823,800	68,100
8月	1,074,900	107.1%	+71,100	1,003,800	8月	982,400	109.1%	+82,000	900,400	92,500
9月	948,600	114.2%	+117,700	830,900	9月	854,700	112.7%	+96,300	758,400	93,900
7-9月計	2,971,100	108.0%	+221,000	2,750,100	7-9月計	2,716,600	109.4%	+234,000	2,482,600	254,500
10月	985,800	111.2%	+98,900	886,900	10月	903,000	111.2%	+90,600	812,400	82,800
11月	894,500	110.3%	+83,300	811,200	11月	818,300	109.0%	+67,900	750,400	76,200
年度計	7,415,500	74.5%	△2,537,200	9,952,700	年度計	6,744,700	73.8%	△2,400,600	9,145,300	670,800

国内	国内客／合計				空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	
	4-6月計	1,821,600	105.1%	+89,100	4-6月計	1,802,000	104.8%	+82,100	1,719,900	19,600
7月	704,200	101.7%	+11,900	692,300	7月	701,900	101.8%	+12,200	689,700	2,300
8月	783,500	101.9%	+14,700	768,800	8月	780,400	101.9%	+14,300	766,100	3,100
9月	685,700	108.1%	+51,100	634,600	9月	681,500	107.7%	+48,500	633,000	4,200
7-9月計	2,173,400	103.7%	+77,700	2,095,700	7-9月計	2,163,800	103.6%	+75,000	2,088,800	9,600
10月	724,900	104.4%	+30,400	694,500	10月	721,300	104.7%	+32,700	688,600	3,600
11月	662,800	104.1%	+26,000	636,800	11月	661,000	104.5%	+28,600	632,400	1,800
年度計	5,382,700	70.3%	△-2,278,500	7,661,200	年度計	5,348,100	70.2%	△-2,274,100	7,622,200	34,600

海外	外国客／合計				空路/ 海路別	外国客／空路				外国客／海路
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	
	4-6月計	742,500	155%	+264,300	4-6月計	504,800	149%	+164,900	339,900	237,700
7月	243,400	109%	+20,300	223,100	7月	177,600	132%	+43,500	134,100	65,800
8月	291,400	124%	+56,400	235,000	8月	202,000	150%	+67,700	134,300	89,400
9月	262,900	134%	+66,600	196,300	9月	173,200	138%	+47,800	125,400	89,700
7-9月計	797,700	122%	+143,300	654,400	7-9月計	552,800	140%	+159,000	393,800	244,900
10月	260,900	136%	+68,500	192,400	10月	181,700	147%	+57,900	123,800	79,200
11月	231,700	133%	+57,300	174,400	11月	157,300	133%	+39,300	118,000	74,400
年度計	2,032,800	89%	△-258,700	2,291,500	年度計	1,396,600	92%	△-126,500	1,523,100	636,200

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値

※数値引用元は各地域名横に記載
※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、参考値としてご覧ください。また、各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあります。
※数値公表のタイミングはそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表です。

（沖縄離島の入域観光客数）

沖縄県入域観光客数 総計 沖縄県観光政策課	2025				●八重山 沖縄県八重山事務所	2025				●宮古 宮古島市観光商工部観光商工課				
	前年比	前年増減	2024	2025		前年比	前年増減	2024	2025	前年比	前年増減	2024		
4-6月計	2,564,100	116.0%	+353,400	2,210,700	4-6月計	374,173	121.8%	+67,070	307,103	4-6月計	298,612	111.4%	+30,472	268,140
7-9月計	2,971,100	108.0%	+221,000	2,750,100	7-9月計	435,558	100.8%	+3,538	432,020	7-9月計	366,658	101.6%	+5,942	360,716
上期計	5,535,200	111.6%	+574,400	4,960,800	上期計	809,731	109.6%	+70,608	739,123	上期計	665,270	105.8%	+36,414	628,856
10月	985,800	111.2%	+98,900	886,900	10月	131,797	112.4%	+14,577	117,220	10月	116,056	117.0%	+16,869	99,187
11月	894,500	110.3%	+83,300	811,200	11月	0	0.0%	△112,109	112,109	11月	97,016	106.1%	+5,570	91,446
12月	0	0.0%	△816,400	816,400	12月	0	0.0%	△122,211	122,211	12月	0	0.0%	△101,111	101,111
年度計	7,415,500	74.5%	△2,537,200	9,952,700	年度計	941,528	66.9%	△464,845	1,406,373	年度計	878,342	73.6%	△314,529	1,192,871

●久米島 久米島町観光協会	2025				●座間味村 座間味村役場産業振興課	2025				●渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課				
	前年比	前年増減	2024	2025		前年比	前年増減	2024	2025		前年比	前年増減	2024	
4-6月計	15,146	103.3%	+483	14,663	4-6月計	34,350	137.9%	+9,444	24,906	4-6月計	44,245	137.1%	+11,977	32,268
7-9月計	30,314	105.2%	+1,489	28,825	7-9月計	51,561	111.4%	+5,273	46,288	7-9月計	53,257	105.1%	+2,573	50,684
上期計	45,460	104.5%	+1,972	43,488	上期計	85,911	120.7%	+14,717	71,194	上期計	97,502	117.5%	+14,550	82,952
10月	9,212	113.2%	+1,073	8,139	10月	12,846	126.8%	+2,715	10,131	10月	15,855	116.9%	+2,297	13,558
11月	7,420	103.3%	+240	7,180	11月	5,300	91.2%	△510	5,810	11月	10,390	165.8%	+4,123	6,267
12月	0	0.0%	△7,597	7,597	12月	2,884	93.8%	△191	3,075	12月	0	0.0%	△5,167	5,167
年度計	62,092	70.1%	△26,435	88,527	年度計	106,941	101.3%	+1,416	105,525	年度計	123,747	99.6%	△470	124,217

3. 入域数／航路別入域実績（2025年度）

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

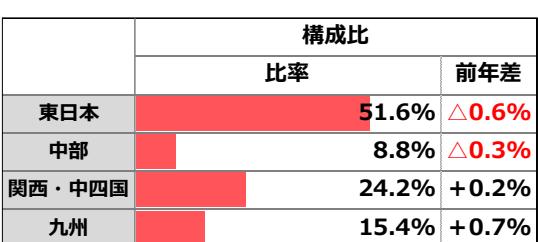
国内
海外

国内 海外	8月		9月		10月		11月		4~11月 累計（速報値）		4~9月 累計（確定値）		
	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	入域数	入域数シェア	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	
国内 航 路 別	札幌	4,400	0	4,200	0	4,300	△ 100	4,100	100	33,200	0.4%	24,800	0.4%
	仙台	4,700	△ 600	4,500	△ 600	5,400	△ 500	6,000	600	37,100	0.5%	25,700	0.5%
	福島	0	0	0	0	500	200	0	△ 100	500	0.0%	0	0.0%
	新潟	0	0	0	0	3,700	3,700	3,000	500	11,400	0.2%	4,700	0.1%
	富山	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0.0%	100	0.0%
	小松	3,500	100	3,000	200	3,800	△ 100	3,600	100	26,400	0.4%	19,000	0.3%
	東京	377,300	3,500	342,200	17,800	355,600	8,100	321,400	11,400	2,617,700	35.3%	1,940,700	35.1%
	茨城	3,800	△ 200	3,500	300	3,800	△ 200	3,300	△ 200	26,100	0.4%	19,000	0.3%
	静岡	3,800	200	3,100	700	3,600	700	3,600	1,000	24,600	0.3%	17,400	0.3%
	名古屋	70,900	3,500	55,200	5,300	60,900	6,200	57,700	2,600	461,500	6.2%	342,900	6.2%
	伊丹	58,500	3,500	47,600	9,700	46,800	3,900	44,200	1,900	373,400	5.0%	282,400	5.1%
	関西	78,400	△ 200	70,400	2,500	70,400	300	59,600	△ 1,900	545,700	7.4%	415,700	7.5%
	神戸	35,000	△ 100	29,300	2,400	31,100	900	27,700	0	231,200	3.1%	172,400	3.1%
	岡山	4,000	200	3,500	300	4,000	100	3,700	200	31,100	0.4%	23,400	0.4%
	広島	4,800	200	4,500	100	5,100	300	5,600	700	36,900	0.5%	26,200	0.5%
	岩国	4,100	300	3,400	300	3,800	200	3,300	200	27,300	0.4%	20,200	0.4%
	高松	4,100	△ 1,300	3,400	0	4,000	△ 1,000	3,700	200	32,000	0.4%	24,300	0.4%
	松山	3,600	△ 200	3,600	400	3,800	400	3,400	100	26,800	0.4%	19,600	0.4%
	高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	福岡	99,400	4,800	85,600	10,400	92,200	4,500	88,900	7,600	677,500	9.1%	496,400	9.0%
	北九州	0	0	0	0	0	0	100	100	100	0.0%	0	0.0%
	長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	熊本	3,900	100	3,700	500	3,900	200	3,600	0	28,700	0.4%	21,200	0.4%
	大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	宮崎	3,900	400	3,100	100	3,700	400	3,600	300	26,000	0.4%	18,700	0.3%
	鹿児島	15,400	500	11,100	△ 100	12,700	400	12,500	700	97,900	1.3%	72,700	1.3%
	その他	0	0	0	0	1,800	1,800	200	△ 100	8,700	0.1%	6,700	0.1%
	国内計	783,500	14,700	684,900	50,300	724,900	+30,400	662,800	+26,000	5,381,900	72.6%	3,994,200	72.2%
外国 國籍 別	台湾	132,700	+12,700	103,400	+18,200	0	+0	0	+0			652,300	11.8%
	韓国	41,600	+6,800	43,500	+7,300	0	+0	0	+0			273,800	4.9%
	中国本土	51,000	+23,400	56,200	+27,400	0	+0	0	+0			248,100	4.5%
	香港	29,700	+14,000	17,700	+4,600	0	+0	0	+0			119,000	2.2%
	アメリカ	2,800	+700	3,000	+200	0	+0	0	+0			23,300	0.4%
	カナダ	800	+400	800	+100	0	+0	0	+0			5,100	0.1%
	イギリス	900	+500	900	+300	0	+0	0	+0			5,400	0.1%
	フランス	600	+300	500	+200	0	+0	0	+0			3,100	0.1%
	タイ	1,300	+200	1,100	△ 100	0	+0	0	+0			10,300	0.2%
	シンガポール	500	△ 400	500	△ 700	0	+0	0	+0			10,400	0.2%
	マレーシア	500	△ 200	1,000	+100	0	+0	0	+0			4,700	0.1%
	インドネシア	300	+0	500	+200	0	+0	0	+0			2,400	0.0%
	オーストラリア	400	+100	800	+300	0	+0	0	+0			5,700	0.1%
	その他※	28,300	△ 2,100	33,000	+8,500	0	+0	0	+0			176,600	3.2%
	外国計	291,400	+56,400	262,900	+66,600	0	+0	0	+0	2,032,800	27.4%	1,540,200	27.8%
	総計	1,074,900	+71,100	947,800	+116,900	724,900	+30,400	662,800	+26,000	7,414,700	100%	5,534,400	100%

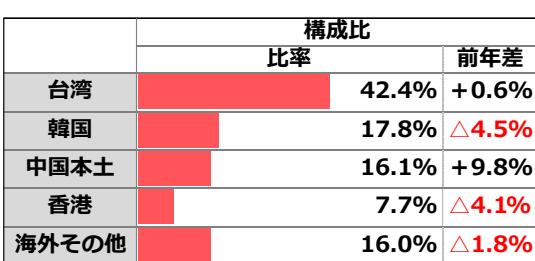
※その他には乗務員を含む

4. 入域数／エリア構成比（25年度累計／同期比）

国内入域エリア別（4月～11月）



海外入域エリア別（4月～9月）



4. 航空旅客輸送実績／需給バランス 沖縄向けの数値（定期路線、下り便）

※国内は、沖縄県観光政策課発表より引用。チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません

※国外は、OCVB独自調査。チャーター便など不定期路線および各一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値

● 月ごとの供給/需要/利用率

参考値

FSC・LCC内訳

	4-6月計	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	年度計		FSC	LCC
国内	提供座席 2,366,420	849,460	874,449	801,000	4,891,329	820,748	803,422	6,515,499			
	輸送実績 1,824,338	726,817	805,895	701,849	4,058,899	754,366	698,434	5,511,699			
	利用率 77.1	85.6	92.2	87.6	83.0	91.9	86.9	84.6			
海外	提供座席 548,957	187,953	184,778	191,104	1,112,792	202,129	177,443	1,492,364			
	輸送実績 443,973	149,109	161,942	162,256	917,280	168,548	148,614	1,234,442			
	利用率 80.9	79.3	87.6	84.9	82.4	83.4	83.8	82.7			
合計	提供座席 2,915,377	1,037,413	1,059,227	992,104	6,004,121	1,022,877	980,865	8,007,863			
	輸送実績 2,268,311	875,926	967,837	864,105	4,976,179	922,914	847,048	6,746,141			
	利用率 77.8	84.4	91.4	87.1	82.9	90.2	86.4	84.2			

参考数値

● 路線別の供給/需要/利用率（国内累計）

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。

- 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を上回る
- △ 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を下回る（±0～▲%）
- × 実績（前年比）が、座席提供数（前年比）を下回る（▲5%以上）

国内		輸送実績（需要）				提供座席（供給）				利用率			需給 前年比 差異	概況		
発地	着地	2025年度	2024年度	同期比		2025年度	2024年度	同期比		2025年度	2024年度	増減				
		累計	同期累計	前年比	増減	累計	同期累計	前年比	増減	累計	同期累計					
札幌	那覇	0	0	+0		0	0	+0		-					○	
仙台	那覇	43,939	45,465	96.6%	△1,526	49,876	63,150	79.0%	△13,274	88%	72%	+16%	+18%		○	
新潟	那覇	13,917	7,785	178.8%	+6,132	20,252	14,940	135.6%	+5,312	69%	52%	+17%	+43%		○	
小松	那覇	31,578	29,604	106.7%	+1,974	40,260	40,095	100.4%	+165	78%	74%	+5%	+6%		○	
茨城	那覇	31,950	34,049	93.8%	△2,099	43,011	43,011	100.0%	+0	74%	79%	△5%	△6%	×		
羽田	那覇	2,350,857	2,263,314	103.9%	+87,543	2,732,301	2,704,403	101.0%	+27,898	86%	84%	+2%	+3%		○	
羽田	宮古	189,717	175,268	108.2%	+14,449	205,924	195,855	105.1%	+10,069	92%	89%	+3%	+3%		○	
羽田	石垣	251,743	233,958	107.6%	+17,785	280,096	273,290	102.5%	+6,806	90%	86%	+4%	+5%		○	
羽田	久米島	5,773	6,278	92.0%	△505	7,095	8,085	87.8%	△990	81%	78%	+4%	+4%		○	
羽田	下地島	36,118	37,391	96.6%	△1,273	43,188	42,657	101.2%	+531	84%	88%	△4%	△5%	△		
静岡	那覇	29,853	18,635	160.2%	+11,218	40,495	27,057	149.7%	+13,438	74%	69%	+5%	+11%		○	
東日本エリア計		2,985,445	2,851,747	104.7%	+133,698	3,462,498	3,412,543	101.5%	+49,955	86%	84%	+3%	+3%		○	
名古屋	那覇	372,041	361,617	102.9%	+10,424	467,377	438,910	106.5%	+28,467	80%	82%	△3%	△4%	△		
名古屋	宮古	37,522	42,379	88.5%	△4,857	41,493	51,392	80.7%	△9,899	90%	82%	+8%	+8%		○	
名古屋	石垣	36,696	40,263	91.1%	△3,567	41,493	51,227	81.0%	△9,734	88%	79%	+10%	+10%		○	
中部エリア計		446,259	444,259	100.5%	+2,000	550,363	541,529	101.6%	+8,834	81%	82%	△1%	△1%	△		
伊丹	那覇	444,967	413,469	107.6%	+31,498	491,309	492,540	99.8%	△1,231	91%	84%	+7%	+8%		○	
伊丹	宮古	0	0	+0		0	0	+0		-					-	
伊丹	石垣	5,643	6,553	86.1%	△910	6,372	8,300	76.8%	△1,928	89%	79%	+10%	+9%		○	
関西	那覇	212,575	206,487	102.9%	+6,088	259,110	274,189	94.5%	△15,079	82%	75%	+7%	+8%		○	
関西	宮古	75,232	78,733	95.6%	△3,501	85,624	98,321	87.1%	△12,697	88%	80%	+8%	+8%		○	
関西	石垣	73,461	62,919	116.8%	+10,542	84,519	75,688	111.7%	+8,831	87%	83%	+4%	+5%		○	
神戸	那覇	247,011	245,199	100.7%	+1,812	306,623	308,651	99.3%	△2,028	81%	79%	+1%	+1%		○	
神戸	下地島	33,463	35,443	94.4%	△1,980	43,188	42,834	100.8%	+354	77%	83%	△5%	△6%	×		
岡山	那覇	37,720	36,199	104.2%	+1,521	42,240	41,910	100.8%	+330	89%	86%	+3%	+3%		○	
広島	那覇	44,713	43,871	101.9%	+842	50,072	51,435	97.4%	△1,363	89%	85%	+4%	+5%		○	
岩国	那覇	32,993	30,399	108.5%	+2,594	40,504	40,172	100.8%	+332	81%	76%	+6%	+8%		○	
高松	那覇	38,717	45,590	84.9%	△6,873	45,325	64,222	70.6%	△18,897	85%	71%	+14%	+14%		○	
松山	那覇	32,476	30,461	106.6%	+2,015	39,792	40,171	99.1%	△379	82%	76%	+6%	+8%		○	
関西・中四国エリア計		1,278,971	1,235,323	103.5%	+43,648	1,494,678	1,538,433	97.2%	△43,755	86%	80%	+5%	+6%		○	
福岡	那覇	622,576	572,436	108.8%	+50,140	784,356	797,983	98.3%	△13,627	79%	72%	+8%	+10%		○	
熊本	那覇	34,682	33,226	104.4%	+1,456	40,503	40,005	101.2%	+498	86%	83%	+3%	+3%		○	
宮崎	那覇	31,649	29,634	106.8%	+2,015	42,328	41,634	101.7%	+694	75%	71%	+4%	+5%		○	
鹿児島	那覇	66,308	62,795	105.6%	+3,513	84,464	84,287	100.2%	+177	79%	75%	+4%	+5%		○	
与論	那覇	23,413	22,920	102.2%	+493	26,626	26,126	101.9%	+500	88%	88%	+0%	+0%		○	
沖永良部	那覇	8,468	8,717	97.1%	△249	11,328	11,302	100.2%	+26	75%	77%	△2%	△3%	△		
九州エリア計		787,096	729,791	107.9%	+57,305	989,605	1,001,481	98.8%	△11,876	80%	73%	+7%	+9%		○	
国内/合計		5,497,771	5,261,120	104.5%	+236,651	6,497,144	6,493,986	100.0%	+3,158	85%	81%	+4%	+4%		○	

● 空港別の外国人入国者数（那覇/石垣/下地島） 出入国管理統計より引用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
那覇	159,554	157,443	159,014	166,181	186,813	160,148	170,454	0	0	0	0	0	1,159,607	93.6%
石垣	5,418	5,711	6,869	6,925	9,622	6,863	6,007	0	0	0	0	0	47,415	3.8%
下地島	3,067	3,647	4,016	4,471	5,717	6,179	5,027	0	0	0	0	0	32,124	2.6%
合計	168,039	166,801	169,899	177,577	202,152	173,190	181,488	0	0	0	0	0	1,239,146	100.0%

市場別概況の表の見方

訪日概況：2025年11月時点

JNTO報道発表

「地域別訪日市場の概況」より引用。



台湾

訪日概況：5月の訪日客数は466,000人（前年同月比53.6%増）であった。旅行代金の高騰等があつたものの、日本各地へのチャーター便を含む地方路線の増便等の影響もあり、5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較

観光客数回復率*

58%

出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率：2025年9月時点

沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。

2018年9月と2025年9月の比較

航空路線回復率

79%

航空路線回復率：2025年12月時点

OCVB調べ

就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出

2024年3月は年度最高の69,200人で着地。年度全体での回復率は58%となつた。直近3か月の回復率は80%を上回つた状態で推移しており、今後も順調な回復が見込まれる。

就航数がピークの2019年7月と2024年6月の週間運航便数から算出

市場別概況



台湾

訪日概況：11月の訪日客数は542,400人（前年同月比11.1%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、台北桃園～神戸間の増便をはじめとした航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

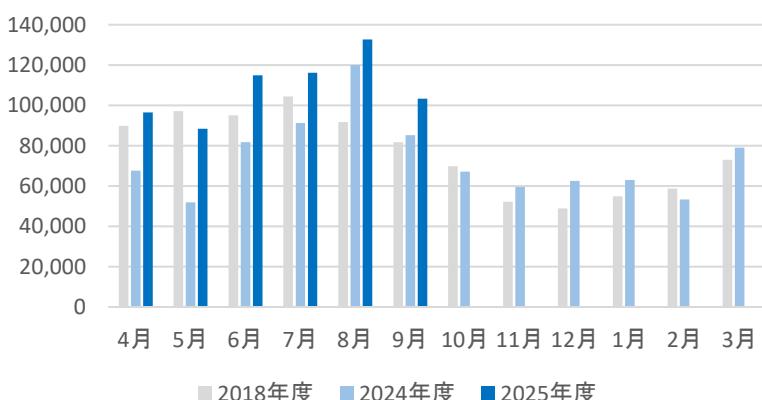
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較

観光客数回復率

127%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比121%、18,200人増となる103,400人の訪沖者数となつた。

航空路線回復率

109%

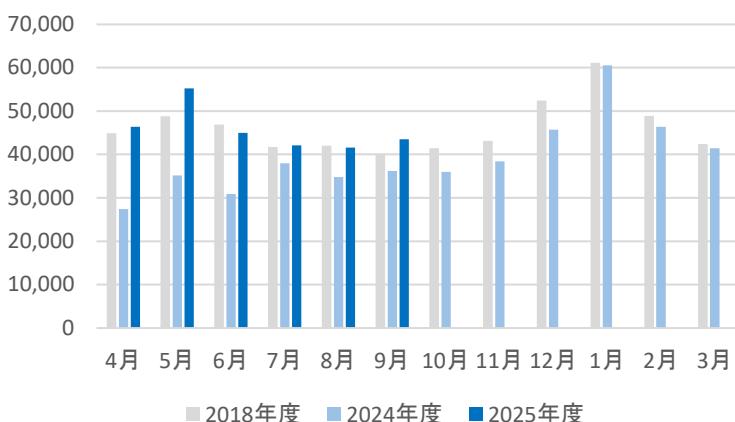
就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出



訪日概況：11月の訪日客数は、824,500 人（前年同月比 10.0%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、仁川～成田間、仁川～鹿児島間の増便をはじめとした航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は 11 月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は、対前年同月比120%、7,300人増となる
43,500人の訪沖者数となった。

観光客数回復率

108%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

105%

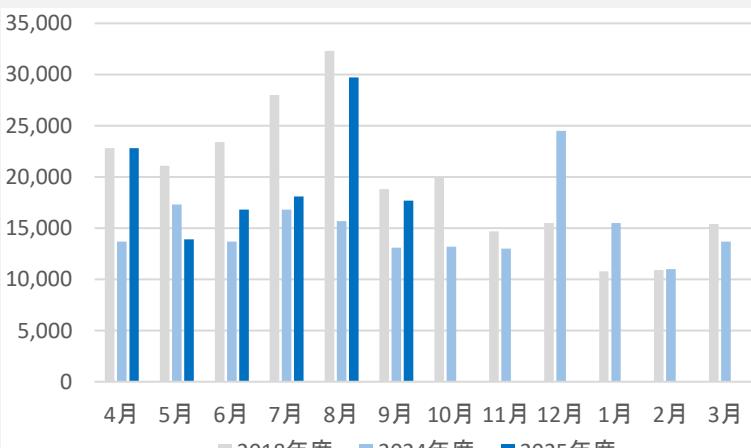
就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出



訪日概況：11月の訪日客数は、207,600 人（前年同月比 8.6%減）であった。クルーズ船の寄港等はあったものの、前年の冬ダイヤ期首と比較して航空座席数が減少していたこと等の影響により、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は、対前年同月比135%、4,600人増となる
17,700人の訪沖者数となった。

観光客数回復率

94%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

48%

就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出

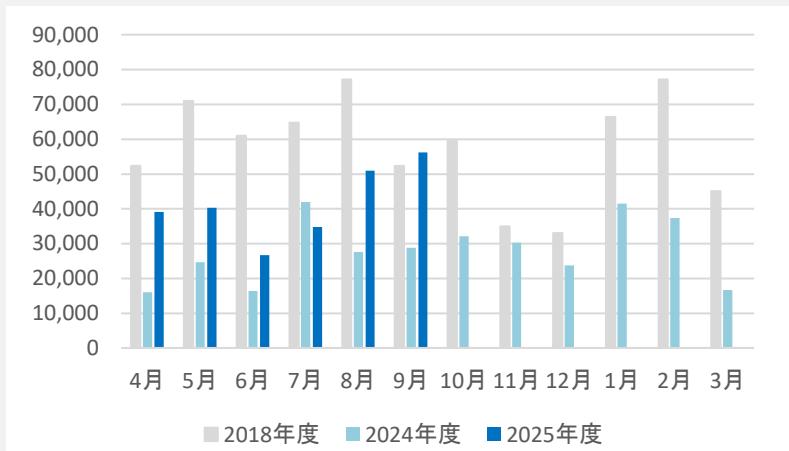


中国

訪日概況：11月の訪日客数は、562,600 人（前年同月比 3.0%増）であった。訪日需要が落ち着く時期であることに加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。前年の冬ダイヤ期首と比較して航空座席数が増加していたこと等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比195%、27,400人増となる**56,200人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率

107%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

41%

就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出

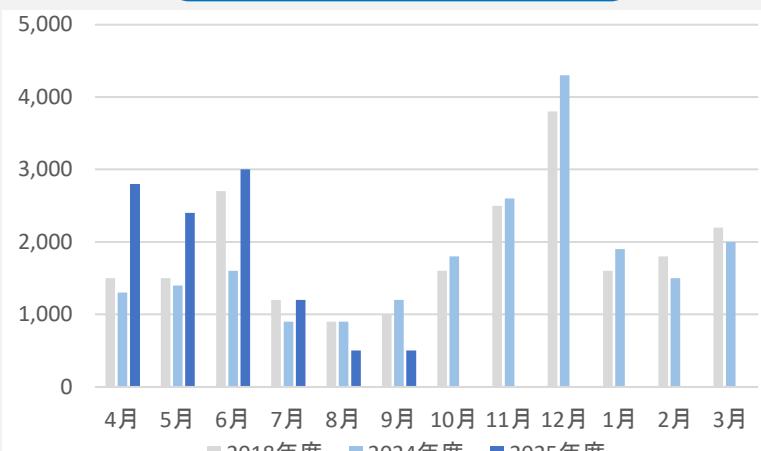


シンガポール

訪日概況：11月の訪日客数は89,400 人（前年同月比 6.7%減）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期であるものの、昨年は 11 月中旬からであったスクールホリデーが今年は 11 月下旬からとなったこと、一部路線での減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比42%、700人減となる**500人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率

50%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

75%

就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出

5. エリア概況（海外）タイ・マレーシア

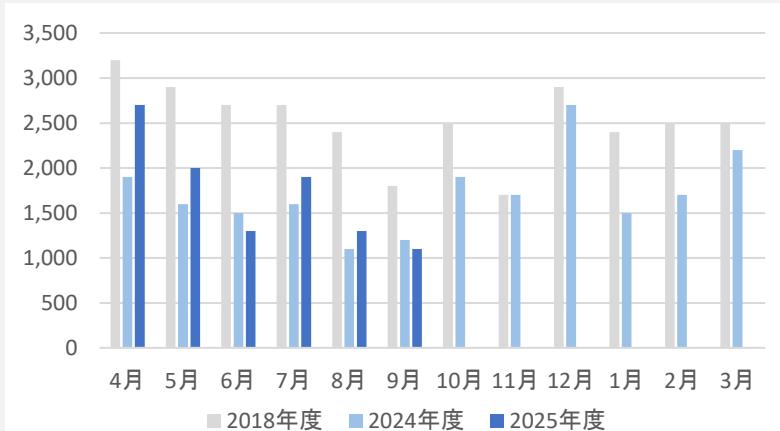


タイ

訪日概況：11月の訪日客数は、117,400人（前年同月比0.5%減）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、バンコク～羽田間、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便等があったものの、経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

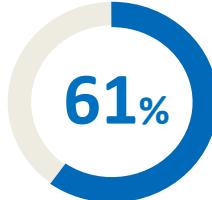
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

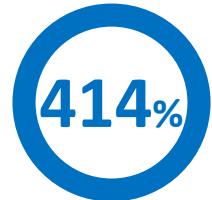
訪沖概況：2025年9月は対前年同月比92%、100人減となる1,100人の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年12月の週間運航便数から算出

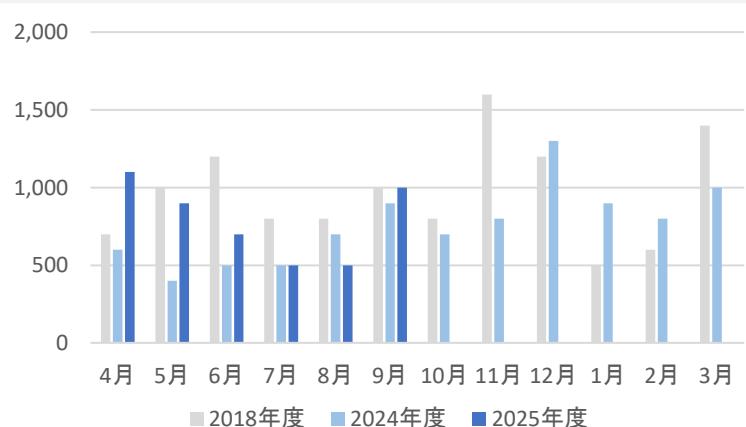


マレーシア

訪日概況：11月の訪日客数は、71,200人（前年同月比14.8%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、クアラルンプール～関西間の直行便数の増加等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

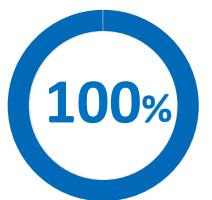
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比111%、1,000人の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなかったため
2025年12月の週間運航便数は4便増としています

5. エリア概況（海外）オーストラリア・アメリカ

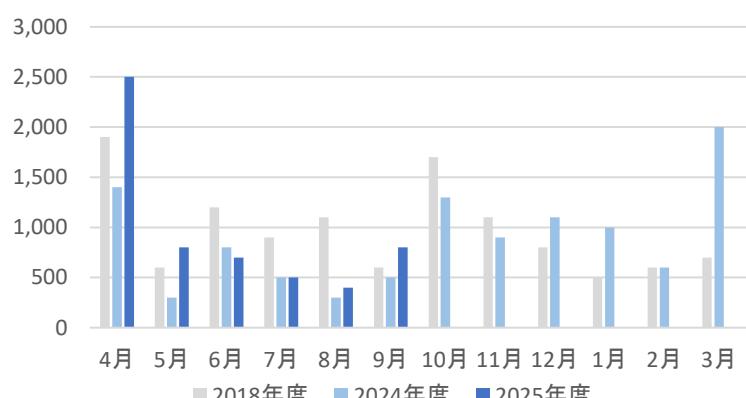


オーストラリア

訪日概況：11月の訪日客数は85,600人（前年同月比6.6%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気やクルーズ需要の高まり等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率

133%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比160%、300人増となる**800人**の訪沖者数となった。

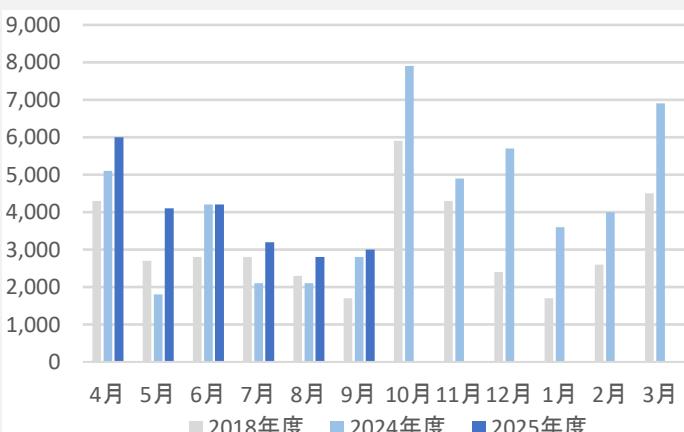


アメリカ

訪日概況：11月の訪日客数は、302,500人（前年同月比22.2%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、祝日や前年同月と比較した航空座席数の増加およびクルーズ需要の高まり等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率

176%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比107%、200人増となる**3,000人**の訪沖者数となった。
9月としては過去最高を記録。

5. エリア概況（海外）イギリス・フランス

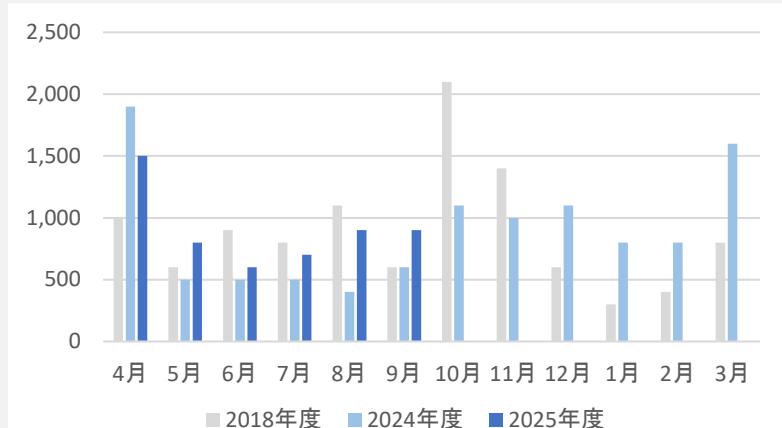


イギリス(本国)

訪日概況：11月の訪日客数は45,100人（前年同月比21.7%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率

150%

*観光客数回復率は2018年9月と2025年9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比150%、300人増となる900人の訪沖者数となった。

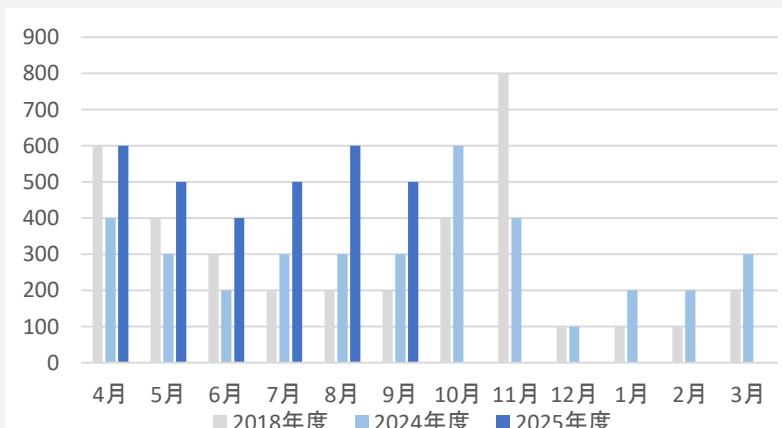


フランス

訪日概況：11月の訪日客数は41,400人（前年同月比33.0%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率

250%

*観光客数回復率は2018年8月と2025年8月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年9月は対前年同月比167%、200人増となる500人の訪沖者数となった。
9月としては過去最高を記録。

沖縄発着 国際線状況

国際線運航便数まとめ（那覇・下地・石垣 到着便）

到着地	那覇												下地	石垣	(2025年12月26日現在)				
出発地	台北	台中	高雄	台南	北京	上海	福州	仁川	釜山	清州	香港	シンガポール	バンコク	クアラルンプール	仁川	仁川	全路線計	就航会社数	便数回復率
便数	70	14	13	2	0	16	0	46	14	7	21	3	29	4	5	5	249	21	96.50%

回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

最新のスケジュール・運航状況は航空各社のHP等ご確認下さい。

那覇空港

沖縄県国際線運航状況

運航路線		種別		便名(着・発)		運航曜日								運航時間			
						便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発	
台湾	台北	FSC	CI	120/121	7	●	●	●	●	●	●	●	●		10:45	11:55	
			CI	122/123	7	●	●	●	●	●	●	●	●		19:15	20:15	
		FSC	JX	870/871	7	●	●	●	●	●	●	●	●		14:15	15:25	
			IT	230/231	7	●	●	●	●	●	●	●	●		8:55	9:45	
		LCC	IT	232/233	7	●	●	●	●	●	●	●	●		20:40	21:30	
			FSC	BR	112/113	7	●	●	●	●	●	●	●		9:15	10:15	
			BR	186/185	7	●	●	●	●	●	●	●	●		19:10	20:10	
		Peach Aviation	MM	922/921	7	●	●	●	●	●	●	●	●		12:25	8:15	
			LCC	MM	926/925	7	●	●	●	●	●	●	●		17:50	13:35	
			MM	930/929	7	●	●	●	●	●	●	●	●		20:50	16:50	
	高雄	LCC	IT	288/289	7	●	●	●	●	●	●	●	●		12:30	13:30	
			FSC	CI	132/133	6	●	●	●	●	●	●	●		18:30	19:30	
	台中	FSC	JX	302/303	7	●	●	●	●	●	●	●	●		15:45	16:45	
			JX	312/313	7	●	●	●	●	●	●	●	●		19:30	20:30	
	台南	LCC	IT	796/797	2									●	12/25~ 定期チャーター便	17:50	13:30
			UO	820/821	7	●	●	●	●	●	●	●	●		10:55	11:55	
	香港	LCC	UO	824/825	7	●	●	●	●	●	●	●	●		19:20	20:15	
			FSC	HX	658/659	7	●	●	●	●	●	●	●		15:00	16:00	
韓国	仁川	FSC	OZ	172/171	7	●	●	●	●	●	●	●	●		10:40	12:00	
			KE	2147/2148	7	●	●	●	●	●	●	●	●		17:05	18:05	
		LCC	TW	281/282	7	●	●	●	●	●	●	●	●		14:25	15:25	
			TW	279/280	4	●		●	●	●	●	●	●		9:55	10:55	
		LCC	7C	1802/1801	7	●	●	●	●	●	●	●	●		15:50	16:50	
			ZE	631/632	7	●	●	●	●	●	●	●	●		14:00	15:00	
		LCC	LJ	341/342	7	●	●	●	●	●	●	●	●		12:20	13:30	
			LJ	371/372	7	●	●	●	●	●	●	●	●		10:05	11:05	
	釜山	LCC	ZE	963/964	7	●	●	●	●	●	●	●	●		10:30	11:30	
			RF	394/393	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:10	10:10	
中国	上海	LCC	9C	6977/6978	2	●					●				12/20~3/28 週2便予定	14:00	15:00
			MU	2085/2086	7	●	●	●	●	●	●	●	●		一部不定期運休あり、詳細は航空会社へお問合せください	13:30	14:30
		FSC	MU	287/288	7	●	●	●	●	●	●	●	●		一部不定期運休あり、詳細は航空会社へお問合せください	15:30	16:30
	LCC	TR	834/835	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●		8:20	9:20	
		FSC	MU	2085/2086	7	●	●	●	●	●	●	●	●		14:55	15:55	
シンガポール	シンガポール	スクート	LCC	TR	834/835	3	●	●	●	●	●	●	●		14:55	15:55	
タイ	バンコク（ドンムアン）	LCC	FD	240/241	4		●			●	●	●	●		台北経由	15:55	16:55
			FD	230/231	7	●	●	●	●	●	●	●	●		香港経由	16:40	17:40
		LCC	SL	390/391	4		●		●	●	●	●	●		高雄経由	10:50	11:50
	バンコク（スワンナーム）	LCC	VZ	568/569	7	●	●	●	●	●	●	●	●		台北経由	17:10	18:10
マレーシア	クアラルンプール	ハティックエアーマレーシア	LCC	OD	882/883	4	●		●	●	●	●	●		台北経由	15:30	16:30

239 35 33 34 33 34 33 37

下地島空港

運航路線		種別		便名		運航曜日								運航時間		
						便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発
韓国	仁川	LCC	LJ	357/358	5	●			●	●	●	●	●		10:50	12:00

5 1 0 1 1 0 1 1

石垣空港

運航路線		種別		便名		運航曜日								運航時間		
						便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考	到着	出発
韓国	仁川	LCC	LJ	361/362	5	●	●		●	●	●	●	●		12:30	13:30

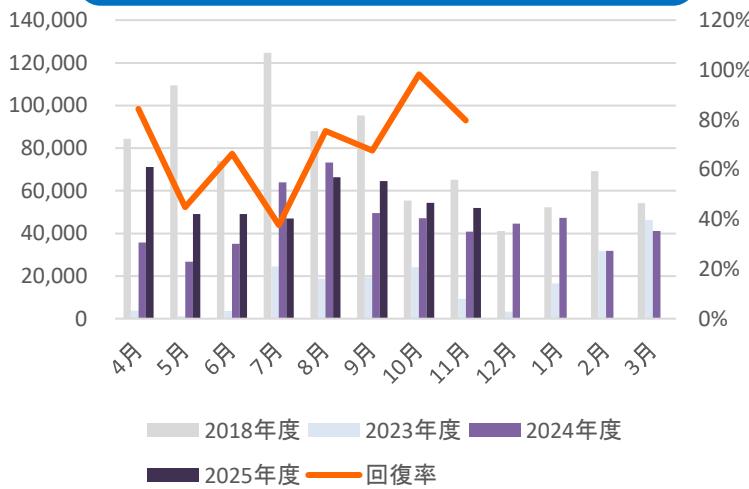
5 1 1 0 1 1 0 1

クルーズ市場について

クルーズ市場概況

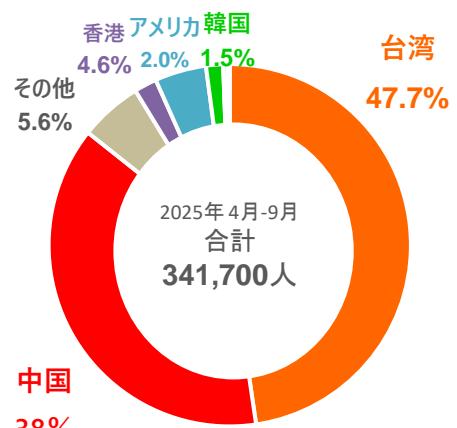
令和7年11月の海路からの外国人入域客数（乗務員を除く）は、51,900人となり昨年の同月と比べ約126%と増加した。2026年1月現在、中国や香港からの寄港数が減少傾向にあるが、全体で見ると、年明けから3月にかけて本部や各離島などへの寄港も予定されていることから県内全域での寄港を期待したい。

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳



*外国人入域観光客数（海路）*乗務員除く

2018年度(ピーク時)の同期と比較

台湾	韓国	中国	香港
86%	153%	55%	56%

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：
<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
 石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>
 平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
 本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>
 中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



■どこから沖縄へ行く？－中国地方（山口・広島）在住者における利用路線について－

はじめに

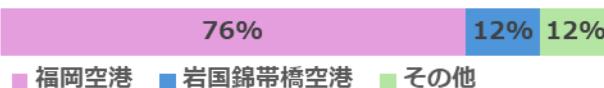
中国地方から沖縄方面には、岩国錦帯橋空港、広島空港、岡山空港の各空港から、那覇空港への直行便がそれぞれ1日1便運航しています。この度国内プロモーション課では、商圈工アリアが近接する岩国錦帯橋空港および広島空港を有する山口県・広島県で開催されたイベントに出展し、来場者が実際に沖縄を訪問する際の主な利用空港を把握することを目的として、アンケートを実施しました。



Q.直近沖縄に来た際の利用空港は？

A.

yabふれあいフェスタ（山口県山口市）



ひろしま旅マルシェ（広島県広島市）



山口市のイベント来場者は、新幹線との接続性の良さや、時間帯・価格帯の選択肢の多さを理由に、福岡空港を利用する方が多い傾向が見られました。一方、岩国錦帯橋空港を選択した方は、直行便がある点を主な理由としていることが分かりました。また、過去に福岡空港を利用した方の中には、岩国－那覇の直行便が就航していることや、岩国錦帯橋空港の駐車場が5日間無料になるサービスを知らなかったという方が一定数いました。

広島市のイベント来場者は、直行便の利便性を理由に、広島空港を利用する方が多い傾向が見られました。一方、岩国錦帯橋空港の利用者は、「駐車場が無料」「直行便がある」「アクセスが便利」など、利用理由が分散していることが分かりました。また、直行便の認知度に関するアンケートの結果から、岩国－那覇路線の存在を認知していない層も一定数いることが確認されました。

沖縄への行き方は一つじゃない

今回実施した調査により、居住地域ごとの沖縄訪問時における利用路線の傾向を把握することができ、少し距離があっても福岡空港を利用する方が一定数存在することが明らかとなりました。その背景として、新幹線移動に対する心理的ハードルの低さに加え、利用者のニーズに合わせて選べる航空便の時間帯や価格帯の選択肢が豊富である点があると考えられます。また、ファミリー層においては、無料の駐車場なども利用空港を決める判断材料になっていることが見受けられました。

今後は、岩国・広島－那覇路線の中長期的な安定化を図るために、直行便の就航がなくとも地理的条件や交通利便性等から商圈になり得るエリアも含め、より広範な層へプロモーションを展開していく必要があると考えます。

お問い合わせ先：

国内プロモーション課（担当）赤嶺、中山

TEL : 098-859-6125 E-mail : kokunai_rosen@ocvb.or.jp

海外向けのプロモーションについて

賛助会員の皆様と連携し海外からの訪沖プロモーション強化に取り組みます。今回は中国・オーストラリア・香港に関するプロモーションについてお伝えします。

中国 市場再開に向けた取り組み ~SNS "RED"での情報発信~

沖縄県・OCVBでは2024年より中国本土向けSNS "RED"を運用しています。中国の渡航自粛要請に伴い、現在航空便及びクルーズ寄港へ影響があるものの、REDのフォロワーは沖縄への高い関心と好意的な反応により順調に増え続けています(7,329名(2026年1月現在))。記事に対する好意的なコメントも多く、特に旅攻略系のHOWTO記事が好評で交通やタイムリーな沖縄の情報が人気です。OCVBでは、今後も中国からの訪沖観光客に向けて様々なコンテンツを楽しんでいただけるよう引き続き情報発信に努めてまいります。

●沖縄本島の交通・移動完全ガイド



●モノレールでの楽しみ方



●桜シーズンの楽しみ方



オーストラリア

訪日旅行40万円・滞在日数14日 ～オーストラリアでの観光プロモーション～

日 程：令和7年12月2日(火)
場 所：シドニー市内レストラン MASUYA

オーストラリア・シドニー市内において、旅行先としての認知度向上および旅行業界・メディアとの関係強化を目的としたプロモーションイベント "Okinawa's Ryukyu Rhythms" - unique trade and media VIP event"を開催しました。

参加者からは実際に沖縄に行ってみたいといった声が寄せられ、沖縄の魅力を効果的に発信する機会となりました。

オーストラリアの訪日客1人あたり旅行支出は約40万円、平均泊数約14日(観光庁調査)、沖縄県への観光客数はコロナ前と比較し133%と高い水準まで回復しています。

文化や食等沖縄らしさ溢れる様々なコンテンツを活かしたプロモーションを実施し、更なる訪沖需要の拡大を目指します。



香港

県内ダイビング事業者へ直接予約あり ～香港でのダイビングプロモーション～

日 程：令和7年 12月12日(金)～12月14日(土)
場 所：Hong Kong Convention & Exhibition Centre
来場者：51,250名

新たなダイビング需要創出、沖縄本島及び離島への来訪者増加を目的としダイビング旅行博DRT香港へ出展しました。

ダイビングで沖縄を10回以上訪れているリピーター、沖縄でダイビングのライセンスを取りたい若者など、幅広い層がブースを訪れました。

また出展後、全共同出展者(4社)へダイビングの予約があったとの嬉しい報告もありました。

昨年は地震の風評被害などもあり搭乗率の低下が心配されましたが、離島への直行便の運航などもあり、2025年8月の香港の訪沖観光客は対前年同月比189%、14,000人増と大きく観光客数は増加しました。今後もダイビング等コンテンツをフックとしたプロモーションや離島PRを展開してまいります。



MICE推進課の取り組みについて

●【出展】第35回国際MICEエキスポ（IME2026）

沖縄県およびOCVBは下記のとおり沖縄へのMICE誘致を目的に「第35回国際MICEエキスポ（IME2026）」に出展いたします。**出展にあたり、皆様の情報を広く募集いたします。ふるってお寄せください。**

名称：「第35回国際MICEエキスポ（IME2026）」<https://www.ime2026.jp/>

会期：令和8年2月12日（木）10：30-18：00 東京国際フォーラム（ホールB5/B7）

内容：国内会議、学会・大会、企業ミーティング、インセンティブ旅行等MICEを誘致するための商談イベント

10：30-10：45 開会式 10：50-11：35 IME特別講演 11：40-18：00 商談会（アポイント制）

※会場にて沖縄MICEセミナー（OCVB等によるプレゼンテーション）も開催予定。

主催：一般社団法人日本コングレス・コンベンションビューロー（JCCB）

日本政府観光局（JNTO）

沖縄県からの出展者：沖縄県・OCVB、万国津梁館、沖縄コンベンションセンター、

沖縄MICEネットワーク（2ブース・6事業者）、

（一財）沖縄美ら島財団（美ら海水族館、首里城公園）、那覇エリアMICE推進連絡会

「IME」は日本でのMICE開催を検討しているバイヤーとセラー（コンベンション推進自治体、コンベンションビューロー及びMICE関連事業者等）との有意義な商談機会を提供する場で、日本のMICE国際競争力を強化し、日本全体のMICEビジネスの拡大に寄与することを目的に開催されます。商談は事前アポイント制で計15セッション（1セッション：20分の商談+5分休憩）の商談枠が用意されており、OCVBでは沖縄で開催するMICEをより魅力的かつ効果的に開催するための実践的な情報提供を行います。

お問い合わせ：比嘉、折原
TEL:098-859-6130
Email:mice@ocvb.or.jp

●沖縄MICEネットワークのご案内

産・学・官の連携により新規ビジネスの発掘。多様な業界、業種の200以上の企業・団体が加盟



充実した会員向けサービスを活用して会員間の交流促進によりネットワークを深め、事業の拡大や新規コンテンツの開発などに役立てることができます。ウェブサイトでご利用頂ける会員限定コンテンツとして、

- ①「会員紹介」での企業PR(企業概要や取扱サービス、アピールポイントなどを掲載)
- ②「トピックス」で情報発信(新製品・サービス情報などを掲載、会員向けメールニュースでも配信)
- ③「会員間メール送信機能」

があり、さらに「MICE産業部会」「サステナビリティ部会」「展示会等誘致開催検討会」などの部会活動を通じて、MICE施策に声を反映させることができます。また勉強会やセミナー、名刺交換会、会員間の交流を深めビジネスの連携促進につながるマッチング交流会、MICEに係る展示会や商談会への出展により、MICE誘致活動を行います。



興味をお持ちの方はこちらからどうぞ！ →



お問い合わせ先：小野・酒井
TEL：098-851-3765
E-mail：info@okinawamicenetwork.jp

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

OKINAWA TOURISM
OCVB x SDGs

「おきなわSDGsプラチナパートナー」認証団体であるOCVBでは、SDGs認証制度5つの取組を中心に、地域と連携した持続可能な観光づくりに取り組んでいます。

▶詳しくは下記2次元コードまたは[OCVB公式サイト](#)をご覧ください。



今回はOCVB社内及びOCVBが運営をする海軍壕公園での取り組みをご紹介

OCVB社内取組

👉 昼休憩時における電話のアナウンス対応

働きやすい職場環境づくりの推進を目的に、OCVB本社における昼休憩時間の電話対応を昨年11月より試験的に休止しアナウンス対応としていましたが、関係する皆さまのご理解もあり、1月以降も継続となりました。



目標8：働きがいも経済成長も

海軍壕公園

👉 間伐材を再利用したディスプレイ

公園の樹木を育成するために欠かせない間伐作業。海軍壕公園ではSDG'sの取り組みの一環として、間伐材をチップや薪にし再利用しています。その一環として自然の温もりを感じられるディスプレイを作成し、クリスマスシーズンに展示しました。



目標12：つくる責任つかう責任



目標15：陸の豊かさも守ろう



ワーケーション推進事業への取り組み

沖縄リゾートワーケーションの推進を通して、旅行者滞在日数の延伸、観光消費額の向上を図ります。

また、観光産業・地域・教育関連振興の視点で、質の高い観光地の形成を図ります。

●【出展予定】ASIA NEWTRAVELBOOTCAMP 2026

沖縄リゾートワーケーション推進協議会では本県におけるワーケーション関連情報を発信し更なる誘致促進を目的に、ASIA NEWTRAVEL BOOTCAMP 2026への出展を予定しております。

| 名 称：ASIA NEWTRAVEL BOOTCAMP (ANTB)

| 日 時：2026年2月5日（木）～6日（金）

| 場 所：琉球新報ホール

| 主 催：沖縄県

| 参加者：行政関係、観光関連事業者、メディア、投資家、スタートアップ事業者など（400名程度）



今年度予定している商談会等↓

【iWT】令和7年6月25日（水）～27日（金）東京ビッグサイト 終

【TEJ】令和7年9月25日（木）～28日（日）Aichi Sky Expo 終

【ColiveFukuoka】令和7年10月1日（水）～3日（金）福岡住吉神社 終

【CEATEC】令和7年10月14日（火）～17日（金）幕張メッセ 終

【ResorTech】令和7年11月13日（木）～14日（金）沖縄サントリーアリーナ 終

【ANTB】令和8年2月5日（木）～6日（金）琉球新報ホール

●2026年「沖縄観光新春の集い」を開催しました

令和8年1月5日にパシフィックホテル沖縄にて、2026年「沖縄観光新春の集い」を開催しました。

OCVB賛助会員の皆様をはじめ、国・沖縄県、経済界、地域観光協会、観光業界、各種団体、メディア等、各業界の関係者の皆様およそ700人にご参加いただきました。

幕開けは（株）琉球コンシェルジュサービス（芸大OB）様に、琉球国王の祝宴で歌われたおめでたい歌「世榮節（ゆざけーぶし）」を披露いただきました。そして本年再建を控える首里城正殿について（一財）沖縄美ら島財団の湧川盛順理事長にご発表いただき、首里城国王・王妃にも登場いただきました。続いて行われた鏡開きでは、観光業界全体の結束と発展への期待を新たにしました。

今年の干支、午年はエネルギーと躍動を象徴し、飛躍や発展が期待される年とされています。行動力に満ち、新しい挑戦、前進の明るい年になるよう、皆様と共に取り組んでまいりますので、引き続き、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年度観光危機管理体制構築支援事業

●「観光危機管理計画・BCP策定支援セミナー」を開催します！

沖縄県・OCVBでは、市町村の観光危機管理計画や観光関連事業者の事業継続計画（BCP）等の策定・見直しを促進し、本県全体の観光危機管理体制の強化を図るべく、市町村担当者及び観光関連事業者を対象にセミナーを開催します。

被災した観光客への対応について避難所運営ゲーム（HUG）を用いたシミュレーションを行うほか、計画やBCP含む各種マニュアル策定に精通した講師によるセミナーとトークセッションを実施します。各種計画等の策定・見直しへの課題抽出と課題解決に向けた内容となっておりますので、ぜひ奮ってご参加くださいませ。

■ 日時：令和8年1月26日（月）9：45～16：00（受付9：30）

■ 会場：琉球オリオンホテル那覇国際通り

プログラム（都合により変更となる場合があります）

時間	講師	主な内容
9：45～ 12：00	日本赤十字社沖縄県支部 救護係長 井上 稔之 氏	1. HUG（避難所運営ゲーム）によるグループワーク
13：00～ 16：00	講演① 跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏 講演② 危機管理教育＆演習センター 監事 元東京ディズニーランド 防火管理者 石井 修一 氏	1. 「観光は強用美のまちづくり」 2. 「事業者に求められる災害フェーズの対応とチェックポイント」 3. トークセッション・質疑応答・個別相談

※昼食は各自でご準備をお願いいたします。

【沖縄観光危機管理WEBサイト】

県内における観光危機管理の情報、セミナーや
実施活動報告、報告書をご確認いただけます！

<https://tcm.ocvb.or.jp/>



お問い合わせ先：危機管理チーム
TEL：098-859-6126
E-mail：kikikanri@ocvb.or.jp



■首都圏の沖縄関連イベント情報

- ・1/6(火)～1/7(水) [島の手しごと市 Okinawa Island Handcraft Market](#)
- ・1/10(土)～1/11(日) [ディスカバー沖縄 in 羽田空港](#)
- ・1/28(水) [世界自然遺産観光振興シンポジウム](#)
- ・1/31(土) [琉球舞踊 真踊流 舞心](#)
- ・2/1(日) 【県外公演】琉球舞踊 男性舞踊家の会(昼の部)(夜の部)
- ・2/5(木)～2/9(月) [沖縄アート展 in 鶴見](#)
- ・2/7(土)～2/8(日) [第2回 鶴見ウチナー国際映画祭](#) 【当財団出展!】
- ・2/14(土) [沖縄かりゆし演芸まつり 第16回高円寺演芸まつり](#)



最新の首都圏沖縄
イベントスケジュール
はこちらのQRをチェック



■今年度も開催!長野×沖縄連携イベント

前年度に引き続き、長野県との連携イベントを実施する運びとなりました。前回好評だったデジタルスタンプラリーのほか、1Dayイベントや長野県PRキャラクター「アルクマ」と沖縄観光PR大使「花笠マハ工」のコラボステッカーも登場予定です。

期間は、2026年2月下旬～開催予定。

最新情報は当事務所Webページ内首都圏沖縄イベントスケジュールやSNSにて更新します。下記のQR・リンクよりご確認いただけます。



※前回のイベント内容です

※長野県と沖縄県が2023年3月に交流連携協定締結、同年6月に長野県観光機構とOCVBも連携協定を締結。当事務所では、同じ“銀座エリア”に観光案内所を構える「銀座NAGANO」と連携し、両県の魅力発信を行なうイベントを2025年より実施。

■県内の自治体および観光協会のみなさま!おきなわ旅セミナーと観光PRコーナーのご予約承り中です

おきなわ旅セミナー

パンフレットやノベルティ配布で地元をアピール

イベント内容に合わせたレイアウト変更、
対面開催・オンライン(Teams)どちらも
対応可能

2024～2025年実績

- 糸満市観光協会
- うるま市役所、うるま市観光物産協会
- 今帰仁村観光協会
- 読谷村観光協会
- 伊江島観光協会
- 金武町観光協会
- 沖縄市観光物産振興協会
- 久米島町など (順不同)

観光PRコーナー

当事務所入り口の観光PRコーナーにて紹介、
テレビモニターにて動画も放映できます

利用料金は無料!興味ある方、内容を詳しく聞きたい方はお気軽にご連絡ください。

お待ちしております♪

お問い合わせ: 大嶋・土屋・青木

TEL: 03-5220-5311

E-mail: tokyo@ocvb.or.jp

【OCVB東京事務所の公式Webページ&SNS】

首都圏の沖縄イベントほかお役立ち情報発信中!
いいね!・フォローお願いします♪



[Webページ](#)



[X](#)



[Facebook](#)



●県内在住者限定割引でブセナ海中公園を満喫!!

ブセナ海中公園は部瀬名岬内にあり、稀少なサンゴや色鮮やかな魚が豊富に生息しているため、沖縄海岸国定公園の海域公園地区に指定されています。

沖縄本島で唯一の海中展望塔は、岬から約170m先の沖合にあり、展望塔にかかる桟橋では、海の上を歩いている気分を楽しめます。海中展望塔内の螺旋階段を下りると、水深4~5mの海の世界を24面のガラスの窓から覗くことができます。日によって現れる魚が異なるので、自然の海を観察できるのがポイントです。

クジラ型のグラスポートは、船底がガラス張りになっており、覗き込むようにして海中の世界を体験することができます。サンゴ礁や魚の見えるポイントで、ガイドの説明を聞きながら海中散策を楽しめます。

県内在住者割引を実施しておりますので、ご家族やご友人と一緒にブセナ海中公園をぜひご利用ください。



海中展望塔・グラスポート利用料金表

		通常料金	県内在住者 限定料金
海中展望塔	大人	1,050円	840円
	小人	530円	420円
グラスポート	大人	1,560円	1,250円
	小人	780円	620円
セット (海中展望塔・グラスポート)	大人	2,100円	1,700円
	小人	1,050円	840円

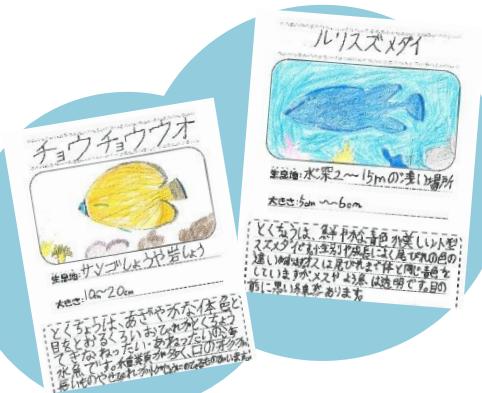
※県内在住を証明できる身分証をチケット購入時にご提示ください。

●地域連携の取り組み 子どもたちが描いた魚のイラストを展望塔内に飾ります!!



令和5年より、喜瀬区「瀬喜田小学校」の生徒さまに「地域の海の生き物」を学ぶことを目的として、当園の海中展望塔とグラスポートをご活用いただいております。今年度は9月中旬に、3年生・4年生（合計9名）の生徒さまがご来園。天候にも恵まれ、魚やサンゴに出逢いながら、地元の海の素晴らしいを感じていただきました。

さらに施設利用後には、図鑑やインターネットを通して海の生き物たちを探求し、イラストとともに魚の紹介ポスターを描いてもらっています。今年度も生徒さまより素晴らしいポスターが届いたので、12月末より海中展望塔内に大切に飾っております。ぜひご来園の際は、ポスターに描かれている海の生き物たちを海中展望塔の窓から探してみてください。



お問い合わせ先：ブセナ海中公園事業所 TEL：0980-52-3379 E-mail：busena@ocvb.or.jp

営業時間：夏期（4～10月）9：00～18：00（最終入館17：30） 冬期（11～3月）9：00～17：30（最終入館17：00）

不定休 *海況不良により営業中止の場合あり

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場（現在の那覇空港）を守るために造った軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあります。琉球王国時代には「火番森（ヒバンムイ）」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点となっていました。現在は、市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。

●小児用遊具広場が来今春オープン！環境配慮との両立も推進

2025年夏にオープンした大型遊具遊具広場に続き、今春の共用に向けて現在、小児用遊具広場を整備中です。年齢や成長段階の異なる子供たちが、それぞれのペースで安心して遊べる環境を整えることで、心身の健やかな成長を支える場づくりを目指しています。



海軍壕園内の植栽計画においては、生物多様性への配慮を重視し、四季折々の草花を楽しめるとともに、昆虫や野鳥などが集まりやすい環境づくりを心掛けています。自然とのふれあいを通じて、来園者が身近な環境保全への関心を高めるきっかけとなることも期待しています。

また、海軍壕公園では、公園整備の過程で発生する間伐材を廃棄せず有効活用する取り組みを進めています。現在は、間伐材を粉碎したチップを土に混ぜて公園整備に利用するほか、薪として販売しています。今後はこうした取り組みに加え、間伐材などを利用した新たな商品の開発も検討中です。自然環境に配慮しながら資源を循環的に活用することで、SDGsの理念を実践的な形で発信してまいります。



●今年も「花のカーニバル」に参画、春の沖縄の魅力を発信

「第43回沖縄花のカーニバル2026」に合わせて、海軍壕公園ではサクラ、コスモス、ブーゲンビリア、キク、マリーゴールドなど、様々な花々による演出で来園者を迎えます。

海拔74メートルの高台に位置する本公園からは、那覇市や豊見城市を一望でき、青い空と豊かな緑、色とりどりの花が織りなす眺望は、魅力ある観光資源となっています。

花のカーニバル期間中は、写真撮影や散策を目的とした来園需要も見込まれ、市街地観光と組み合わせた周遊ルートの一拠点としての活用も期待されています。自然景観と歴史的背景を持つ公園として、沖縄らしい景観価値の発信を通じ、春季観光の魅力拡大に寄与していきます。



お問い合わせ先：旧海軍司令部壕事業所

営業時間：9:00～17:00（最終入館16:30）年中無休

TEL：098-850-4055 E-mail：kaigungo@ocvb.or.jp

SNSのフォローも
よろしくお願ひします！



KAIGUNGO_OKINAWA

沖縄コンベンションセンター自主事業①イマーシブミュージカル「OVERCOME」



- ◆催事名称：「OVERCOME イマーシブ -鳳凰の伝説-」
- ◆主 催：沖縄コンベンションセンター/株式会社N3クリエイト
- ◆制 作：スタジオパフォ
- ◆開催日時：2026年3月29日(日)
第1回公演12:00～ / 第2回公演18:00～
- ◆会 場：沖縄コンベンションセンター劇場
- ◆料金や詳細、お問い合わせは[こちらから](#) → 

IMMERSIVE

イマーシブ(没入型)ミュージカルとは？



観るだけでなく「体験する」ミュージカル！

会場全体が舞台となる、"全方位型演出"

家族や友人と一緒に共有する特別な思い出づくり

イマーシブミュージカル (Immersive Musical) とは、観客が“物語の世界に入り込み”、登場人物の一員として参加できる体験型のミュージカルです。客席とステージの境界がなく、会場全体が舞台となることで、まるで映画や物語の中に迷い込んだような感覚を味わえます。

毎年大好評の沖縄発ミュージカル「OVERCOME」、第5弾となる今回のテーマは'イマーシブ'、鑑賞中に発生する12のエリアで繰り広げられるストーリーを自分で選び、追いかけ、目にして、全員で物語の完結を目指します。高い実力を持つ俳優陣と、バンド生演奏で繰り広げられる、迫力ある1日だけのミュージカルのテーマパーク。

子供も大人も楽しめるストーリーとなっていますので、ぜひ劇場でお楽しみください！

沖縄コンベンションセンター自主事業②FRIENDSHIP LIVE OKINAWA 2026



～懐かしい記憶と3人が織りなす“うた力”コンサート～

代表曲：南こうせつ「神田川」、細坪基佳（ex.ふきのとう）「風来坊」、中村耕一（ex. JAYWALK）「何も言えなくて...夏」他。

- ◆催事名称：FRIENDSHIP LIVE OKINAWA 2026
- ◆主 催：沖縄コンベンションセンター/ピー・エムエージェンシー/エフエム沖縄
- ◆企画制作：ベリーフーム/フラットアースカンパニー/並矢(株)
- ◆後 援：沖縄県/沖縄観光コンベンションビューロー/沖縄テレビ放送/琉球放送/琉球朝日放送/琉球新報社/沖縄タイムス社
- ◆開催日時：2026年4月26日(日)開場15:30 開演16:30
- ◆会 場：沖縄コンベンションセンター劇場
- ◆料 金：一般前売り8,000円、詳細は[コチラ](#) → 
※2/22(日)10:00～販売開始
- ◆お問合せ：ピー・エムエージェンシー
098-898-1331 (平日11:00～15:00)

イープラス
(WEB・ファミリーマート店頭
マルチコピー機)

ローソンチケット
(WEB・ローソン店頭Loppi)
Lコード 83121

チケットぴあ
(WEB・セブン-イレブン店頭マルチコピー機)
Pコード 314-509

沖縄コンベンションセンター
098-898-3000
(9:00～17:00) ※現金販売のみ

【お問い合わせ先】

沖縄コンベンションセンター（OCC）受付時間 09:00～17:00

TEL：098-898-3000 FAX：098-898-2202

公式HP：<http://www.oki-conven.jp/> メール：info@oki-conven.jp



沖縄コンベンションセンター
Okinawa Convention Center

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 令和7年度 MICE受入体制強化等事業 専門アドバイザー派遣	<p>多様化したMICEのニーズに対応するため、専門アドバイザーを派遣し、MICE関連事業者が抱える課題解決をサポートする。</p> <p>【課題例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品やサービスを主催者や旅行会社にPRする方法 ・既存コンテンツをMICE向けにするにはどうしたらよいか ・MICE受入時の対応方法について <p>【対象期間】令和7年4月～令和8年2月末</p> <p>※予算上限に達し次第〆切</p> <p>【対象者】沖縄県内の事業者</p> <p>【派遣回数】4回程度</p> <p>【派遣料】無料</p>	全事業者	https://mice.okinawastory.jp/information/post-46275/	文化観光スポーツ部 MICE推進課 TEL 098-866-2077
2 沖縄県プロフェッショナル人材確保支援補助金	<p>新規事業の立ち上げ、販路開拓、生産性向上、経営管理など自社の経営課題解決に必要な人材のマッチング支援を行う。</p> <p>プロフェッショナル人材を雇用する場合や副業・兼業で活用する場合において、人材紹介手数料等の一部を補助する。</p> <p>【対象期間】 令和7年4月23日～令和8年2月28日</p> <p>【申請期間】 令和7年4月23日～令和8年1月16日</p> <p>※予算上限に達し次第〆切</p> <p>【補助限度額】50万円</p> <p>【補助条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内に事業所を有すること ・プロ人材を県内の事業所において雇用し、又は副業・兼業人材として従事させること ・沖縄県プロフェッショナル人材戦略拠点（（公財）沖縄県産業振興公社内）に企業情報の受付がなされていること 等 	全事業者	https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/keizai/1009879/1009880/1010152.html	商工労働部 労働政策課 TEL 098-866-2366
3 令和7年度 奨学金返還支援事業	<p>県内中小企業の人才確保・定着を支援するため、企業が従業員に対して行う奨学金返還支援に対し、企業が負担する経費の一部を補助する。</p> <p>【対象企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内に本社のある中小企業 ・従業員に対する奨学金返還支援制度を有していること <p>※その他条件についてはHP参照</p> <p>【対象期間】 令和7年4月～令和8年3月</p> <p>【申請期間】 令和7年4月～令和8年2月28日 (申請日の属する月以降に行なった給付が補助対象)</p>	全事業者 ※沖縄県内に本社のある中小企業	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/keizai/1009879/1010143/1010156.html	商工労働部 雇用政策課
4 令和7年度 外国人材受入支援事業	<p>外国人材を受け入れたい企業を対象に、①相談窓口の設置、②セミナー、③マッチングイベントを実施する。</p> <p>【①相談窓口】 外国人雇用に関する悩み、企業の課題整理、解決策のアドバイス、また、必要に応じて行政書士等の専門家を派遣し、対面相談による複数回の伴走支援、企業の魅力発信を目的としたインターンシッププログラムの作成支援等を実施。</p> <p>【②セミナーの開催】 在留資格の制度概要、外国人材採用のポイントや流れ等について、企業、外国人留学生、県内の外国人労働者向けにセミナーを実施。</p> <p>【③マッチングイベント】 県内の大学・専門学校・日本語学校等の留学生が県内企業とマッチングできるよう、合同企業説明会（マッチングイベント）を開催。</p>	全事業者	https://www.yuiyui-gaikokujinzaい.com/	TEL 098-866-2324

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
5	令和7年度 沖縄県所得向上応 援企業支援事業	<p>企業の稼ぐ力の向上を図るとともに、稼いだ企業所得を従業員に適切に分配し、給与向上や正規雇用化に取り組む企業を認証する制度。</p> <p>【対象条件】 沖縄県内での事業実績が1年以上ある法人又は個人事業者</p> <p>【認証基準】 ①給与支給総額の伸び率 ②給与平均額 ③時給増加額 ④財務情報の開示 ⑤正規雇用、男女雇用比率の開示</p> <p>【インセンティブ】 ①認証企業の広報PR（うまんちゅ広場やHP、認証式等） ②奨学金返還支援事業の補助額拡充 ③補助事業採択審査及び業務委託企画選定審査における加点 ④公庫金利優遇 ⑤認証企業が集まる交流会への参加 等</p> <p>【申請期間】通年</p> <p>【認証実績】124社</p>	全事業者	https://www.shotokukojo.okinawa/	商工労働部 雇用政策課 TEL 098-866-2324
6	令和7年度 UIJターン 就職・転職活動 交通費支援事業 (ちゅらっとターン交 通費補助金)	<p>県外在住者の県内就職を促進するため、県内での就職・転職活動に係る交通費の一部を補助する。</p> <p>※対象は個人だが、企業から求職者への案内は不可</p> <p>【対象者】45歳未満の県外在住者</p> <p>【対象活動】①県主催合同企業説明会 ②インターンシップ ③採用面接 ④就職のための移転</p> <p>【対象経費】1.交通費 2.宿泊費</p> <p>【補助額】対象経費×1/2 (上限5万円/回、年度内3回まで申請可)</p> <p>【申請方法】沖縄県電子申請サービスにて申請</p> <p>【申請期間】活動の翌月10日までに申請 (令和8年3月のみ、3月31日までに申請) ※UIJターン就職相談マッチングサイト「りっか沖縄」への登録必須</p>	公務員を除くすべての業種	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/koyerodo/1012003/1034380.html	
7	令和7年度 プロフェッショナル人材 戦略拠点運営事業	<p>沖縄県プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（愛称：人材チャンブルー）では、企業から課題をお聞きし、各支援機関と連携しながら“その課題を解決するプロ人材を紹介”。企業の人材についてなんでも相談できる公的相談窓口。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象：県内事業者 ・支援期間：2025年4月1日～2026年3月31日 ・相談料：無料 ・相談内容(例)：業務効率化、ブランディング、DX化、経理処理などの課題解決に向けた、フルタイム及び副業、兼業人材のマッチング 	全事業者	https://okinawa-ric.jp/service/professional.html	沖縄県産業振興公社 事業支援課 TEL:098-859-6236

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	人材確保等支援助成金（外国人労働者就労環境整備助成コース）	<p>外国人労働者は、雇用慣行の違いなどからトラブルが生じやすい傾向にあるため、外国人特有の事情に配慮した就労環境の整備を行い、外国人労働者の職場定着に取り組む事業主に対して助成する。</p> <p>【対象となる就労環境の整備措置】 雇用労務責任者の選任等、2つの必須となる措置を実施した上で、選択できる措置を1つ以上実施すること</p> <p>【申請期間】 ・措置を実施後6か月の離職率算定期間を経て2か月以内</p> <p>【支給額】 1つの措置を導入ごとに20万円（上限80万円）</p> <p>【対象労働者】 雇用保険被保険者となる外国人労働者（特別永住者および在留資格「外交」、「公用」を除く。）</p>	外国人を雇用する全ての企業	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsite/bunya/koyou_roudou/kyou/kyufukin/gaikokujin.html	沖縄労働局 沖縄助成金センター TEL:098-868-1606
2	産業雇用安定助成金（スキルアップ支援コース）	<p>在籍型出向により労働者のスキルアップを行うとともに、当該出向から復帰した際又は出向開始1年後等の賃金を出向前に比して5%以上増加させた事業主（出向元）に対し、出向中の賃金の一部を助成する。</p> <p>【対象となる事業主】 資本的、経済的、組織的関連性等からみて、出向先事業主との独立性が認められる事業所に対象労働者を出向により送り出す事業主</p> <p>【支給対象期間】 対象労働者の出向開始日から起算して1年が経過する日までの期間</p> <p>【支給額】 対象労働者の賃金に対して出向元事業主が負担した額と出向前の通常賃金の2分の1の額のいずれか低い額に中小企業事業主は3分の2（大企業事業主は2分の1）を乗じて求めた額</p> <p>【申請期間】 賃金上昇確認期間の最後の賃金支払日の翌日から起算して2か月以内</p>	全事業所	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsite/bunya/000082805_00012.html	沖縄労働局 助成金センター分室 TEL:098-868-4013

その他の支援事業関連

2025年11月1日現在

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	在籍型出向マッチング支援	<p>産業雇用安定センター（ジョブ産雇）は1987年（昭和62年）に国および経済・産業団体の協力によって設立された公益財団法人。主な事業として、人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間に立って、情報提供・相談等を行い、在籍型出向の成立に結びつける「人材の橋渡し」の業務を無料で実施。</p> <p>【対象条件】 ①雇用を維持するための在籍型出向 ②人材育成や企業間交流を目的とした出向 ③人材を確保したい企業からの求人受付 ④雇用調整により離職する従業員の再就職支援 <p>【費用】無料</p> </p>	雇用保険に加入している事業所	https://www.sangyokoyo.or.jp/	公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇） 沖縄事務所 TEL:098-860-0750

読者アンケート調査

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.office.com/r/e4e9rWpjY>

▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



どんな情報が役に立っていますか？
どのような記事が読みたいですか？



【読者アンケート調査】
※ご注意ください※本フォームへのご質問には回答できかねます。